

# わたしたちのまちの持続可能な開発目標

「SDGs…持続可能な開発目標」。聞き慣れない言葉は難しく感じるかもしれませんが、地産地消や食品ロスの削減、子どもの教育環境、若手起業家やワーキングマザーのための環境整備といえ、身近な問題に感じられるのではないのでしょうか。SDGs達成に力を入れている一般社団法人刈谷青年会議所や各企業の取り組みを取材しました。

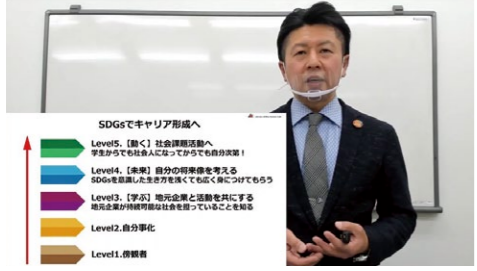
最悪の結末を強く意識して今、動かなくてはいけない

「よりよい社会」と聞いてどんなものを思い描きますか。SDGsは世界中の人々が幸せに暮らせる社会を持続するために、欠かせない目標です。さまざまな側面から各企業が取り組みを進めているなか、刈谷市でもその動きは活発化しています。一般社団法人刈谷青年会議所では2020年にSDGs推進委員会を発足し活動を本格化。「ゲリラ豪雨や気温変動などの異常気象がこのまま繰り返されたらどうなるのか？対策を打たなければ、どんな未来が待っているのか？」を「バッドエンディング」を強く意識すれば、今やらなければならぬという現実が見えてくると思います。こう語るのは、2021年度の理事長を務める近藤孝政さん。「よりよい社会」を逆から捉え、最悪の場合を想像すること、そうならないためには何を

べきか、一人ひとりが意識し動き出すことが大切だと話します。一枚の紙にも取り組みが凝縮消費者としてできること

2020年は企業へのアプローチからスタート。当時の委員長だった小松優さんは、「企業や団体を集め、SDGsの理解を深めるためのカードゲームを使って、環境問題や社会課題をどう解決するかを話し合いました。碧海信用金庫をはじめ5団体の活動動画を配信サイトで市民に紹介し、SDGsを知ってもらうきっかけになったと思います」と振り返ります。

推進活動を通して、印象に残る取り組みを尋ねると、株式会社マルワが扱うバナナペーパーが挙げられました。「バナナペーパーは、廃棄されるバナナの茎を有効活用して作られる紙です。生産地のアフリカで雇いを創出し貧困の解決にもつながっています。一枚の紙が出来上がる工程



上) 小松さんはカードゲーム「アウトサイドイン」の公認ファシリテーターの資格を取得。講習会ではゲームを通してSDGsの学びを深めました。下) 2月に開催された高校生対象のオンライン講演会。一般社団法人SDGsアクション・ラボ理事長の深田英揮氏を迎えて行われました



そもそもSDGsってなに？ SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、よりよい社会の実現を目指すための世界共通の目標のこと。17のゴールと169のターゲットで構成され、2030年を達成年限に見据えて「誰一人として取り残さない」をスローガンに途上国、先進国ともに取り組みを推進しています。17のゴールは ①貧困や飢餓、教育などの社会問題 ②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善といった経済問題 ③気候変動、海洋汚染などの環境問題を統合的に解決することを目指しています。



SDGsを詳しく知ろう!



にも、SDGsの目標である社会・経済・環境問題を含んでいることがよくわかりますよね」と小松さん。またSDGsに則った製品のなかには、タグをつけているものがあります。「消費者であるわたしたちは、こうしたタグが付いた『エシカル商品』を購入することでSDGsへ参画することもできるのです」と教えてくれました。

若者にも広がるSDGs 自分ごととして動き出す 今年度は市内在学の高校生を中心に活動を推進していく予定です。2021年度のSDGs推進委員会・委員長の中川智揮さんは「高校生が興味をもって動き出すことで、ま

の二環としてSDGsを取り入れられるような働きかけや、SDGsを推進する企業と高校生とのマッチングも行っていきたい」と意気込みを語ってくれました。「マイバッグを持参する、エアコンの温度設定に気を配る、食べ物を残さないなど、できることはたくさんあります。大切なのはいかに自分ごととして捉えられるかです」と理事長の近藤さん。SDGsはわたしたちの暮らし全般に関わること。意識してまちを見回してみてください。わたしたちにできるSDGsは、生活のなかにたくさんあることに気づきます。



前年度「SDGs推進委員会」委員長、2021年度理事長 小松 優さん  
一般社団法人刈谷青年会議所 2021年度理事長 近藤孝政さん  
本年度「SDGs推進委員会」委員長 中川智揮さん

info  
一般社団法人 刈谷青年会議所 事務局  
刈谷市新栄町3-26  
☎0566-21-1432  
QR code



世界の食品生産量の1/3が廃棄されているというデータもあり、食品ロスは地球規模の問題です。ロス削減に力を入れている店を選ぶ、食べ残さないなどわたしたちの意識も大切です

株式会社GENROKU  
【住所】高浜市沢渡町4-6-5  
【電話番号】0566-91-7558 【営業時間】17:00~26:00  
【web】https://genroku.co.jp/index.html

刈谷市、高浜市で6店舗の飲食店を展開する同社。廃棄前の商品を安価で販売し、購入希望者とマッチングするフードシェアリングサービスの導入を検討しています。各店舗の椅子やテーブルなどの調度品には、傷や汚れがついても表面を磨いて長く使える木材を使用するなど、環境へ配慮しています。活動が広がるにつれ、食品ロス削減や省エネの調理方法などを意識する従業員が増え、飲食店として取り組めるSDGsへの感度が高まっているそうです。



基礎学力、生活の質、社会性の向上を目指し、障がい者のための教育の場を広く提供。多様な人材が関わることで、それぞれの生きがいにつながる社会を目指しています

特定非営利活動法人くるくる  
【住所】刈谷市新栄町7-73フラワービル4F  
【電話番号】0566-28-7496 【営業時間】17:00~26:00(サービスにより異なる)  
【web】https://kurux2.org/

「障害の有無にかかわらず、健康で自分らしく暮らせる社会に」という理想を掲げ、障がい者の就労・雇用の促進、教育の場の提供しています。活動を通してまちの人や企業との関わりが深まり、障がい者の存在や当事者のもつ可能性を理解する人が増えてきたといいます。運営面では、フレックス勤務や在宅勤務を導入。育児介護休暇、保育料補助制度などを採用し、女性が結婚出産後のキャリアをイメージしながら働き続ける環境づくりを進めています。



創業65年。創業当初より循環型資源再生業務を行ってきた「ヤマイチプライメタル」。廃棄された金属資源を再利用できるように製品化し、環境に配慮したものづくりをしています

株式会社ヤマイチプライメタル  
【住所】刈谷市一ツ木町大坪116  
【電話番号】0566-22-9449 【営業時間】8:00~17:30  
【web】http://yamai1pm.com/index.html

廃棄される金属スクラップを回収し、選別・溶解を経て、製品として再度命を吹き込み出荷する同社。経営理念の「資源は有限、知恵は無限」を軸に、資源のリサイクルで、省資源、省エネルギーの推進に取り組んでいます。2年前には青年会議所の研修船「とうかい号」に従業員を乗船させ、船上でSDGsについて学ぶ機会を設けました。SDGsの理解を深め行動できる社員を育成するとともに、CO2排出量を低減し、「気候変動に具体的な対策を」の達成を目指しています。



右) コロナ禍の臨時休校中には子連れ出勤も可能に。女性が働きやすい環境を整えています 左) ITを駆使したクラウド会計の導入を支援。移動時間の短縮、資料の簡素化に繋がります

高橋会計事務所  
【住所】刈谷市寿町2-312  
【電話番号】0566-21-4851 【営業時間】9:00~17:00  
【web】http://takahashi-ac.biz/index.html

7人の女性スタッフが在籍し、女性経営者のクライアントも多いことから、女性が働きやすい職場環境を目指し、育児休暇の充実などサポート体制を強化しています。また、ネット上にデータを保存するクラウド会計の導入支援で、紙資源の年間使用料の約30%削減を実現。業務の効率化、資料の簡素化を図り、ワークライフバランスの確保に貢献しています。クライアントをはじめ地域のみなさんにSDGsの視点から税務、経営のアドバイスをし、SDGsの浸透に尽力しています。